

付着生物ラーバ情報

ユウレイボヤの大量付着により 海域によって出荷作業の効率が低下

1 ラーバ等の出現状況

ラーバの調査地点は図1、出現数は表1、出現数の推移は図2、3のとおりです。

(1) ユウレイボヤ (通称：ハナ)

ラーバは奥内沖で3月21日に4.2個体/m³見られました (表1、図2)。

(2) キヌマトイガイ (通称：コメガキ)

ラーバは奥内沖で3月21日に18.3個体/m³、久栗坂沖で3月21日に5.0個体/m³、野辺地沖で3月8日に36.7個体/m³、3月24日に43.8個体/m³、川内沖で3月21日に60.2個体/m³見られました (表1、図3)。

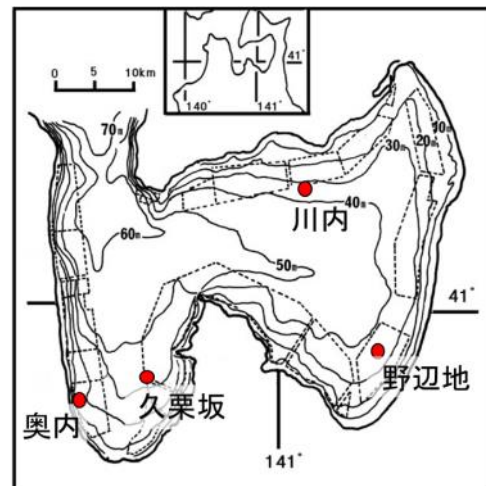


図1 ラーバ調査地点

2 今後の見込み

現在、陸奥湾内の中層の水温は西湾で7℃前後、東湾で5℃前後です。

(1) ユウレイボヤ

累積ラーバ数は、奥内沖で39.3個体/m³、久栗坂沖で12.4個体/m³、野辺地沖で4.7個体/m³、川内沖で7.9個体/m³となっており、分散済みのパールネットにユウレイボヤの付着が見られています。海域によって、大量付着により、今春の出荷作業の効率が低下する可能性があります。

(2) キヌマトイガイ

ラーバが継続して出現していることから、今後、籠や耳吊り、マボヤの採苗器への付着が進むものと思われます。

3 お知らせ

今季の付着生物ラーバ情報は今回で終了です。今後のキヌマトイガイ、ムラサキイガイのラーバの出現動向については、ホタテガイ採苗速報を参考にしてください。

表1 ラーバ等の出現状況

単位: 個体/m³

調査地点	調査月日	ユウレイボヤ	ザラボヤ	ムラサキイガイ	キヌマトイガイ
奥内沖	R6.3.21	4.2	1.7	5.0	18.3
久栗坂沖	R6.3.21	0.0	0.0	7.2	5.0
野辺地沖	R6.3.8	0.0	0.0	25.0	36.7
	R6.3.24	0.0	0.0	18.0	43.8
川内沖	R6.3.21	0.0	0.0	42.2	60.2

※久栗坂沖、川内沖は実験漁場内

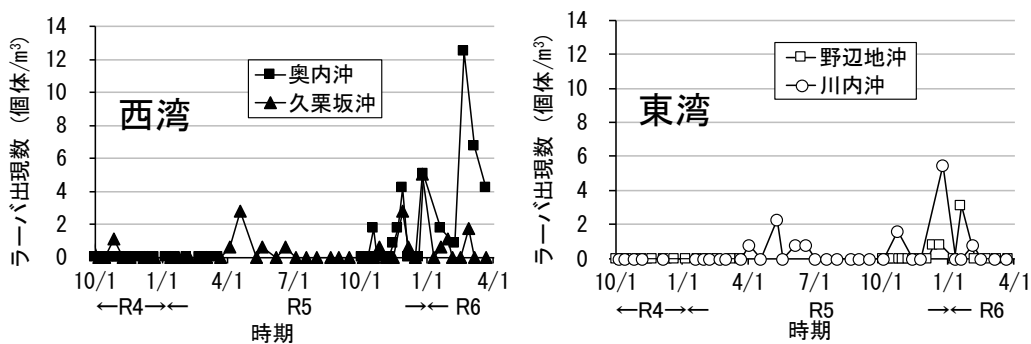


図2 ユウレイボヤ出現数の推移 (令和4年10月～令和6年3月)

・平成25年の観察開始から現在までの最大値：西湾 25個体/m³、東湾 10個体/m³

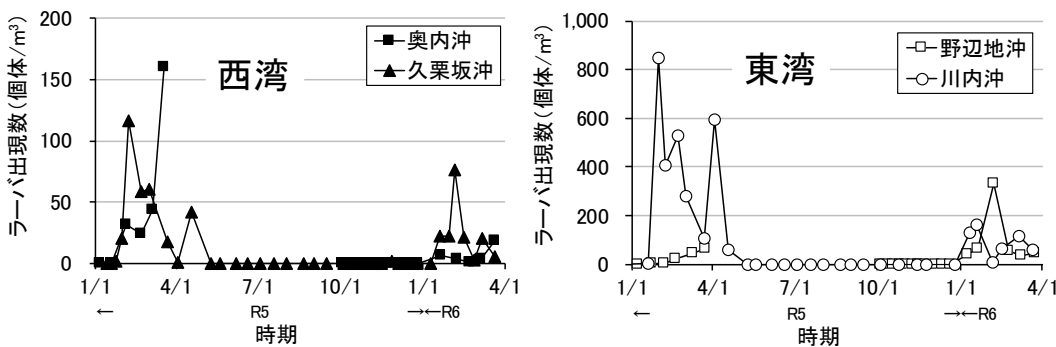


図3 キヌマトイガイ出現数の推移 (令和5年1月～令和6年3月)

・平成25年の観察開始から現在までの最大値：西湾 915個体/m³、東湾 4,483個体/m³

